

増進を高調するだけの價值無之ものと存候

農務省獨立の問題は農村救済策と相並べ論議され、各政黨必死となりて事案に一大光明を與へ、吾こそは農村を代表するもの、農民黨たらしむとするの形勢に在るは餘り農民に媚る急造政策として突止の至に不堪候、政府も亦此世論に鑑み四十五萬圓の豫算、以て農務省を新設する計畫あるやに報せられ候、今日の如く農村の疲弊を救済せずして雲遠看過するときは、由々數社會問題を惹起するに至るべきを以て、爲政者が之に關する對策を講ずるは寔に適當のことに候得共、官廳を新設することは事件を複雑ならしむるの因と爲り、假令其の新設が行政財政整理の目的に眷馳せざるにせよ、餘り好ましきことに無之。官吏を増員することは屋上更に屋を架するの嫌あるは從來の經驗が證明する處に有之候、今日の如く農村をして疲弊せしめたる根源は物貨勢銀の騰貴と、工業勞働の有利なるが爲に、青年の都會に集中するに至りたる結果に外ならず候に付、農業をして工業に對立せしめ、農村の發達を助長するが爲、道路等の如き地方交通機關を改良するの殊に急なるものあるに拘はらず、之が過根を艾除せず、一方財政の縮少を斷行して、地方開發に必要な缺くべからざる道路改良費の支出を惜み、尙農村の進展を圖らむとする如きは無

理矛盾と申すべく、眞に農村の疲弊を憂ふるならば農務省新設の如き急造策を捨て地方開發に必要な費用を投じて其過根を一掃するに如かざるかと存候

二十六日より帝國議會召集され、新議員を以て構成する衆議院は、さぞ人騒せの悲喜劇を表現すること、被察候、新聞紙の報導する所に依れば、召集當日當選證書の持參を忘れたる新選良十四名の多きに達したる趣に有之、是等新選良諸子が、所謂先輩選良に引率されて、各室を覗き廻る、狀態を觀るとき、其の選出に付消費したる運動費と勞苦とに對し、聊か氣の毒の感を起さしめ申候、是等選良諸子の日比谷座に於ける活動は次號に報導すること、し今回は是にて擱筆致候

敬 具

### ◎外遊の首途に箱根より 伊藤 生

肅啓、此度の外國出張に就ては色々御高配を相煩し奉感謝候、昨日は又懇々御見送りを蒙り恐縮の外無之候、神戸に向ふ途中足を箱根の溪谷に入れ、連日の疲勞を醫して一層の天氣を養ひ候(記者曰く夫婦連れの外遊で、故國の風物を愛惜せらるるは如何なる)出發間際まで飛び廻り居候こと、て、靜寂な山の湯に浸りて初めてホットしたる氣持に相成申候、本日は一日

自動車を驅りて山奥に向ひ、蘆ノ湖畔に、悠遊致候、箱根八里の天下の險も、今は既に昔物語りと相成、道路改良の効果の偉大なることに今更驚き申候、高原の夏未だ深からず、湖の深碧、すつきりとした富士の雄姿、白雲の間に隠見し何とも言ひ難き清澄と靜寂の氣分を味ひ申候、モーターボートに乗つて湖心を週遊し、武骨漢の僕にも詩情湧き來申候

眞青なる蘆の湖靜もりて

富士をうつせり漣もなし

餘りの風光に尙足を延はして、昨夏竣功せし箱根坂路を靜岡神奈川兩縣界までドライブ致し候、眼下に三島、沼津の町々を展望致し、東海道を一時に觀たる感有之、圖らずも震災後箱根國道を視察と言ふ公務を果したるが如き心地致候、之にて心身の疲勞も既に回復致し候間、明朝當地出發郷里に立寄り、二十日神戸出帆の豫定に御座候

今回旅行の目的は道路制度の研究と視察とにあるを以て歐米各地を馳け巡り貴紙の爲に報導致度存居候、終に臨み會長閣下始め理事其の他各位の健康を祈り申候 敬 具

x x x x

◎雀と鷄と自動車

子供に「嫁入りく〜」と騒ぎ立てられて餘義なく徐行させられた羽咋町の中を通りぬけた田舎道を、今度こそはと稍スピードを出させて七尾に向つて急げば、犬が飛び出して自動車の圖體を見て吃驚仰天、驀然に私たちの進みつつある方向に走り出した、尾を刎ね上げ足も宙に走るわ〜、正にこれ文字通りの一生懸命である。やつと人家の籬の中に遁入したので一安心と思えば、道路に乾してある穀物の穂を啄んでゐた雀を飛び立たせ、道の中程まで押し出された塵の山から蚯蚓を掘り出してゐた鷄を驚かせてこれを更に行く手に走らせて飼主の怒聲を後から浴せかけられた。

嗚呼人生行路難！西曆千九百二十年の今日、如何なる山間僻地でも自動車の存在は知つてゐながら、此れに應ずる道路のなきを如何せんやだ。好奇の子供や犬はしばらく措き雀の餌になる穀物を道路に乾し、鷄の好きな蚯蚓の棲み家が道路に置かれた目下の我國の道路が、所謂三大國の一と誇つてゐる口の下に、隨所否地方道路の總てが、此れなんである雀よ！鷄よ！自動車を怨まないで道の悪いことを怨め！野や庭とあまり異はない昔のまゝの道路に自動車を走らせてゐる現代の人間達が悪いんだ（北陸の旅より……MT生）